



平成29年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月3日

上場会社名 BEENOS株式会社

上場取引所 東

コード番号 3328 URL <http://www.beenos.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼グループCEO (氏名) 直井 聖太

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼グループCFO (氏名) 中村 浩二

TEL 03-5739-3350

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	15,146	4.7	501	55.9	557	52.1	195	76.4
28年9月期第3四半期	14,464	14.2	1,136	7.9	1,162	12.5	828	4.2

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 536百万円 (8.2%) 28年9月期第3四半期 495百万円 (52.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	15.98	15.96
28年9月期第3四半期	67.91	67.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第3四半期	13,113	8,438	53.6	571.58
28年9月期	13,095	8,025	51.1	548.80

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 7,026百万円 28年9月期 6,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		0.00		13.00	13.00
29年9月期		5.00			
29年9月期(予想)				13.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 28年9月期及び29年9月期第2四半期の配当原資には、資本剰余金が含まれております。

詳細は、後述の「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

2. 29年9月期第2四半期末配当金の内訳 記念配当 5円00銭

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	4.0	1,400	16.6	1,400	15.6	750	20.3	61.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	12,332,600 株	28年9月期	12,266,600 株
期末自己株式数	29年9月期3Q	39,118 株	28年9月期	66,218 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	12,259,841 株	28年9月期3Q	12,198,767 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

平成 28 年 9 月期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	期末	合計
1 株当たり配当金	13 円 00 銭	13 円 00 銭
配当金総額	158 百万円	158 百万円

(注) 純資産減少割合 0.023

平成 29 年 9 月期第 2 四半期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	第 2 四半期末	合計
1 株当たり配当金	5 円 00 銭	5 円 00 銭
配当金総額	61 百万円	61 百万円

(注) 純資産減少割合 0.009

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(修正再表示)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、ITとインターネットをベースに新しい市場を切り拓き、新しい産業を創造する「次世代の総合商社」を目指し、今期は、「国内の流通ネットワークの拡大とコンテンツ開拓」・「海外マーケットプレイスのネットワーク拡大と関係強化」・「国内外での投資育成推進によるグローバルコマースのネットワーク拡大」を戦略の主軸として事業の拡大を図っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,146,874千円（前年同期比4.7%増）、営業利益は501,023千円（前年同期比55.9%減）、経常利益は557,268千円（前年同期比52.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は195,852千円（前年同期比76.4%減）となりました。

なお、各段階利益が前年同期に比べ減少しているのは、インキュベーション事業における営業投資有価証券の売却益の計上が当第3四半期連結累計期間になかったことが主な要因であり、Eコマース事業においては前年同期に比べ増収増益となっております。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

①Eコマース事業

クロスボーダー部門の「海外転送・代理購入事業（FROM JAPAN）」におきましては、代理購入事業「Buyee」でのECサイトの取扱拡大を目指し、送料割引キャンペーンなど積極的にプロモーション費用を投下いたしました。また、倉庫移転及び面積拡張により出荷件数の増加を図りました。さらにはオンライン決済の対応通貨の拡大等のユーザビリティ向上施策を実施したこと、また為替が円安傾向であったことも追い風となり売上高、営業利益が好調に推移しました。

「グローバルショッピング事業（TO JAPAN）」におきましては、米国倉庫やカスタマーサポートの内製化に伴う新サービス導入等によって流通総額が増加し、売上高、営業利益は堅調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,120,424千円（前年同期比8.6%増）、営業利益は502,083千円（前年同期比180.3%増）となりました。

バリューサイクル部門におきましては、買取面では、4月から人気女性タレントを起用した新CMによりブランド品宅配買取サイト「ブランディア」の更なる認知度向上を図り、5月には延べ利用者数が200万人を突破しました。また、買取関連サイト群の改修によるユーザビリティの向上も図り、買取件数、買取金額ともに、順調に推移しました。販売面では、自社販路の「ブランディアオークション」のシステム改修によりユーザビリティを向上させるとともに、出品サイトの追加を行った結果、売上高は堅調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,022,970千円（前年同期比9.7%増）、営業利益は281,819千円（前年同期比1.4%減）となりました。

リテールライセンス部門の「商品プロデュース・ライセンス事業」におきましては、人気アイドルグループやマスターライセンスを保有するアーティストの公式ECサイトのリリース及びリニューアルによるEC強化を図るとともに、日本のアーティストブランドの認知を世界の流通市場に拡大すべくマスターライセンスブランド商品を海外の店舗で販売するトライアルを台湾にて実施した結果、売上高が好調に推移しました。

また、今後の商品開発力、市場開拓力の強化を目的として、キャンドルなどのインテリア雑貨の企画・販売を行う株式会社SWATiを連結子会社化し、商品企画・開発を進めております。

「ネットショッピング事業」におきましては、顧客ポートフォリオマネジメントを進化させることによりコンバージョン率の向上を図るとともに、ファッション・美容関連のオリジナル商品の開発・販売強化に注力しましたが、買取商材の在庫消化により粗利益率が低下しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,986,034千円（前年同期比18.2%増）、営業利益は75,992千円（前年同期比44.2%減）となりました。

Eコマース事業全体では、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,129,429千円（前年同期比11.6%増）、営業利益は859,896千円（前年同期比43.1%増）と過去最高益となりました。

②インキュベーション事業

「投資育成事業」におきましては、主要な新興国におけるオンライン総合マーケットプレイス企業とオンライン決済企業への出資に続いて、専門型オンラインマーケットプレイスへの投資を進めております。特に市場の大きな分野でもある自動車・不動産・ファッション・ヘルスケアに注目しております。

また、日本国内においても昨今の訪日旅行客の増加をビジネスチャンスととらえ、民泊ホスト向けに一括管理ツールなどを提供する企業や訪日旅行客向けに商品情報の多言語表示アプリを提供する企業に出資をいたしました。

既存の投資先については事業成長にあわせて投資回収を進める一方で、投資育成事業において保有する営業投資有価証券について、一定の基準に基づいて評価し、営業投資有価証券評価損を売上原価に計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は18,318千円（前年同期比98.0%減）、営業損失は82,364千円（前年同期は営業利益801,310千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(i) 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は13,113,416千円となり、前連結会計年度末と比べ18,258千円の増加となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が11,525,818千円となり、前連結会計年度末と比べ261,223千円の減少となりました。その主な要因は、増加要因として、営業投資有価証券1,001,356千円、未収入金168,784千円の増加、減少要因として、現金及び預金1,512,606千円の減少であります。

また、固定資産合計は、1,587,598千円となり、前連結会計年度末と比べ279,481千円の増加となりました。その主な増加要因は、投資有価証券105,625千円、のれん42,442千円、無形固定資産その他に含まれるソフトウェア39,816千円、建物及び構築物（純額）38,187千円の増加であります。

(ii) 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は4,674,786千円となり、前連結会計年度末と比べ394,763千円の減少となりました。

内訳といたしましては、流動負債合計が4,410,379千円となり、前連結会計年度と比べ420,255千円の減少となりました。その主な要因は、増加要因として、預り金183,633千円、支払手形及び買掛金121,120千円の増加、減少要因として、未払金615,696千円、未払法人税等147,797千円の減少であります。

また、固定負債合計は、264,406千円となり、前連結会計年度と比べ25,491千円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金15,360千円、資産除去債務12,602千円の増加であります。

(iii) 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は8,438,630千円となり、前連結会計年度末と比べ413,021千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因として、利益剰余金195,852千円、為替換算調整勘定180,664千円、非支配株主持分90,548千円の増加、減少要因として、資本剰余金210,455千円の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年10月27日に発表致しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,307,317	4,794,710
受取手形及び売掛金	914,843	1,082,841
営業投資有価証券	1,605,068	2,606,424
商品	1,187,282	1,132,502
未収入金	892,956	1,061,740
繰延税金資産	195,344	99,637
その他	704,306	759,271
貸倒引当金	△20,076	△11,310
流動資産合計	11,787,041	11,525,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	327,914	390,323
減価償却累計額	△151,083	△175,304
建物及び構築物(純額)	176,831	215,018
工具、器具及び備品	117,057	128,262
減価償却累計額	△82,382	△95,990
工具、器具及び備品(純額)	34,674	32,272
有形固定資産合計	211,506	247,291
無形固定資産		
のれん	58,758	101,201
その他	121,222	160,589
無形固定資産合計	179,981	261,791
投資その他の資産		
投資有価証券	484,061	589,687
繰延税金資産	19,016	20,013
その他	415,300	468,815
貸倒引当金	△1,749	—
投資その他の資産合計	916,628	1,078,516
固定資産合計	1,308,116	1,587,598
資産合計	13,095,158	13,113,416

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	395,301	516,421
短期借入金	914,655	953,225
1年内返済予定の長期借入金	20,160	29,040
未払金	2,486,366	1,870,669
預り金	292,712	476,346
未払法人税等	245,083	97,286
繰延税金負債	79	17,805
その他	476,275	449,585
流動負債合計	4,830,634	4,410,379
固定負債		
長期借入金	74,842	90,202
資産除去債務	148,144	160,746
繰延税金負債	7,740	6,450
その他	8,188	7,007
固定負債合計	238,915	264,406
負債合計	5,069,549	4,674,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,725,977	2,775,840
資本剰余金	3,129,121	2,918,665
利益剰余金	955,054	1,150,906
自己株式	△94,498	△55,768
株主資本合計	6,715,654	6,789,643
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△42,932	33,573
為替換算調整勘定	22,834	203,499
その他の包括利益累計額合計	△20,097	237,072
新株予約権	14,235	5,548
非支配株主持分	1,315,815	1,406,364
純資産合計	8,025,608	8,438,630
負債純資産合計	13,095,158	13,113,416

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	14,464,271	15,146,874
売上原価	6,709,438	7,256,913
売上総利益	7,754,832	7,889,960
販売費及び一般管理費	6,618,515	7,388,936
営業利益	1,136,317	501,023
営業外収益		
受取利息	332	97
為替差益	3,128	—
受取補償金	16,843	—
持分法による投資利益	20,910	27,235
投資事業組合運用益	—	38,618
償却債権取立益	—	1,149
その他	9,664	9,450
営業外収益合計	50,879	76,551
営業外費用		
支払利息	5,557	8,798
為替差損	—	10,485
投資事業組合運用損	19,236	—
その他	45	1,021
営業外費用合計	24,839	20,306
経常利益	1,162,357	557,268
税金等調整前四半期純利益	1,162,357	557,268
法人税、住民税及び事業税	280,329	180,336
法人税等調整額	14,879	97,676
法人税等合計	295,208	278,012
四半期純利益	867,148	279,256
非支配株主に帰属する四半期純利益	38,786	83,403
親会社株主に帰属する四半期純利益	828,362	195,852

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	867,148	279,256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△78,820	76,019
為替換算調整勘定	△282,013	170,931
持分法適用会社に対する持分相当額	△10,378	10,218
その他の包括利益合計	△371,212	257,170
四半期包括利益	495,936	536,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	457,150	453,022
非支配株主に係る四半期包括利益	38,786	83,403

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	クロス ボーダー 部門	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,873,748	7,310,620	3,372,776	13,557,145	907,125	14,464,271	—	14,464,271
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,873,748	7,310,620	3,372,776	13,557,145	907,125	14,464,271	—	14,464,271
セグメント利益	179,151	285,771	136,209	601,131	801,310	1,402,442	△266,124	1,136,317

(注) 1. セグメント利益の調整額△266,124千円には、セグメント間取引の消去△72,481千円、各報告セグメントに配分していない全社収益281,554千円及び全社費用△475,197千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	クロス ボーダー 部門	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,120,424	8,022,970	3,985,161	15,128,555	18,318	15,146,874	—	15,146,874
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	873	873	—	873	△873	—
計	3,120,424	8,022,970	3,986,034	15,129,429	18,318	15,147,748	△873	15,146,874
セグメント利益又 は損失(△)	502,083	281,819	75,992	859,896	△82,364	777,531	△276,507	501,023

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△276,507千円には、セグメント間取引の消去△51,725千円、各報告セグメントに配分していない全社収益261,026千円及び全社費用△485,808千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。